

令和元年度学校評価 「自己評価」

学校名 北海道千歳北陽高等学校

1 本年度の重点目標

- 1 授業方法や内容の工夫・充実により、基礎・基本を確実に身につけ、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- 2 基本的な生活習慣に関する指導の徹底により、規律ある生活態度、自主・自律的な態度を身につけた生徒を育てる。
- 3 進路指導及びキャリア教育の充実により、進路意識を高め、自己実現を図る生徒を育てる。
- 4 生徒会活動や部活動の活性化により、より良い人間関係を築き、心豊かにたくましく活動する生徒を育てる。

2 本年度の経営方針

- 「自他を尊重できる人づくりを行い、一人ひとりの夢をはぐくみ、愛される学校」をつくり、「夢の実現に向かっていきいきと学び、愛校心を持ち、自らを律し、社会の発展に貢献する生徒」を育てるために、
- 1 生徒理解と信頼関係に基づく組織的な指導の推進をめざす。
 - 2 生徒個々の学力向上・進路実現をめざす。
 - 3 家庭、地域から信頼され、必要とされる学校をめざす。
 - 4 学校課題解決に向けた教職員の協働体制の確立をめざす。
 - 5 働き方改革を推進し、教職員の心身の健康の保持増進をめざす。

3 自己評価

「A=十分である」、「B=概ね十分である」、「C=不十分である」、「D=改善を要する」

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策
学校経営 教育目標	今年度の学校経営方針・シラバスに則って教育を展開していますか。	B	B	・学校経営方針のもと、学科転換に向けた準備室を立ち上げ、新しい学校づくりの準備を進めた。
	全職員が一体となって学校運営・教育を推進していますか。	C	B	・学校経営参画意識を高めるため、適材適所の配置を推進する。
資質向上 服務規律	効果的な研修計画を立案し、研修の成果の共有・実践ができていますか。	B	B	・学科転換に向けた道外研修や校内研修を通じて教職員の資質向上を図る。
	法令遵守・服務規律の保持に係り、適正な勤務管理に努めていますか。	A	A	・学校閉庁日の設定と定時退勤日を効果的に活用し、働き方改革を推進する。
教育課程 学習指導	フィールド制教育課程の管理に係り、検証・改善に努めていますか。	B	B	・現行フィールド制から総合学科の転換が円滑に進行するための検証と改善を行う。
	生徒の学習意欲の向上及び学習習慣の確立を図っていますか。	B	B	・習熟度別授業の実施学年と教科を拡大し、生徒の基礎基本の定着を図る。 ・次年度1年生から学び直しを導入する。
特別活動	学校行事やHR活動・部活動等の充実に向けた指導が十分ですか。	B	B	・学校行事の精選と見直しを行い、生徒の主体的な活動を推進する。
生徒指導 いじめ	その場に応じた適切な生徒対応・生徒指導に努めていますか。	C	B	・生徒状況について学年主任会等を通じて共有し、組織的な生徒指導に努める。
	いじめの根絶に向けて、厳しくも温かい指導を図っていますか。	B	B	・学年集会等の積極的な活用を図り、タイムリーな指導の徹底を図る。
教育相談 保健安全	生徒の悩みに親身に相談にのるなど、生徒の状況把握に努めていますか。	B	C	・特別支援員による教職員への研修や外部機関との連携を図る。
	欠席・遅刻・早退など、生徒の健康管理に対する指導が十分ですか。	C	B	・スクールカウンセラーを活用した生徒状況の把握に努め、特別支援委員会による組織的な生徒支援を推進する。
キャリア教育 進路指導	3年間を見通して、生徒のキャリア発達の促進を図っていますか。	B	B	・基礎力診断テストを活用した年間指導計画を作成し、生徒の進路意識向上を図る。
	進路実現に向けて、適切な助言や具体的な指導を行っていますか。	B	B	・ポートフォリオの作成と活用方法を検証していく。
特別支援教育	主体的に研修に取り組み、特別支援教育の円滑な推進に努めていますか。	B	B	・関係機関との連携を深めるとともに、教職員研修の充実を図っていく。
施設設備	校舎内外の環境整備に努め、施設設備の安全・安心の確保を図っていますか。	B	B	・総合的な探究の時間を活用したボランティア活動を充実させる。
連携 情報発信	保護者や地域住民との積極的な連携・交流に努めていますか。	B	B	・地域活動への参加協力を積極的に行うとともに、中学校訪問の時期と内容の工夫改善を図る。
	日ごろの教育実践を保護者や地域住民にわかりやすく伝えていきますか。	B	B	・学校祭等の学校行事も積極的に地域に公開していく方策を検討する。